

## ●第 50 回 SPUMS 2021 学会レポート

2021 年 5 月 21 日から 23 日、「SPUMS ASM 2021 (South Pacific Underwater Medicine Society, Annual Scientific Meeting)」が開催されました。第 50 回となる記念大会でした。

COVID-19 パンデミックにより 2020 年開催は中止されましたが、今年は Web(Zoom meeting 方式)とシドニー渡航可能な方（おそらくはオーストラリア、ニュージーランド人）用の会場とのハイブリッド方式で開催されました。会場の規模はわかりませんでしたが、Web では常に 40 から 50 名ほどの参加が見られました。

COVID-19 関連演題が多かったですが、2020 年 5 月に COVID-19 罹患後の潜水のガイドライン

[https://www.uhms.org/images/MEDFAQs/UC\\_San\\_Diego\\_Guidelines\\_for\\_Evaluation\\_of\\_Divers\\_during\\_COVID-19\\_pandemic.pdf?fbclid=IwAR1NRM87wVWeL3y9DcPU-1szhDAkEO6FzMiLJtlrlsxndVFTGzXqz1trNk](https://www.uhms.org/images/MEDFAQs/UC_San_Diego_Guidelines_for_Evaluation_of_Divers_during_COVID-19_pandemic.pdf?fbclid=IwAR1NRM87wVWeL3y9DcPU-1szhDAkEO6FzMiLJtlrlsxndVFTGzXqz1trNk)

を作成した UC San Diego チームの医師からも発表がありました。

発表では、ガイドラインの対象は「症状なく治癒して罹患前の運動能力に戻った方」と改めて強調されました。また、ガイドライン発表後にわかった知見も紹介されました。

- ◆ 軽症 COVID-19 罹患後でも胸部異常画像所見、肺機能障害（閉塞性、拘束性）が残ることがある。その持続性及び潜水適性に与える影響は未だ不明
- ◆ 軽症 COVID-19 罹患後の心筋炎は稀
- ◆ COVID-19 罹患後に減圧症のリスクが高まるかは不明。
- ◆ 多くのダイバーは COVID-19 罹患後も潜水復帰可能であった（もとの運動能力に戻ることがポイント）

他にもカナダ・ケベック州における 1986 年から 2021 年の潜水死亡事故の分析、60m のフリーダイビング中の血液ガス動態調査（水面、60m、水面再到達直前（呼吸再開直前））等、興味深い発表がありました。ハイブリッド開催でしたが、大きなトラブルもなく順調な運営でした。ただし、演者は会場とコンピューター画面に同時に話すのですが、動き回る演者で、画面に顔が向いていない状態で話されると Web では聞き取りにくい、また、動画がスムーズに流れない、フロアからの質問が Web では聞き取りにくい、といったマイナートラブルは見られました。

2022 年の学術集会はニュージーランドの Tutukaka で 5 月 21 日より行われる予定です。

2021 年 5 月 31 日

日本高気圧環境・潜水医学会 国際情報委員会